



# 熊本学(祭り)コース

## 地域に根ざしたふるさとの祭り ～無病息災を願う人々の思い～

県内各地の祭りの中から「無病息災」をテーマに5つを選んで開催しました。それぞれの祭りの歴史と共に、込められた思いや願い、地域の人々のつながりを学びました。



第1回

### 上津深江八坂神社裸祭り(苓北町) ～朱塗りの御輿が大寒の海を渡る～



苓北町観光ボランティアガイド協会  
会長 **神崎 雄史郎** 先生

祭日 1月20日  
江戸時代初頭、疫病が流行った際に修験道者が大寒の日に海に入り、祈祷したところ、疫病が収束した事から疫病退散の行事として400年受け継がれてきました。極寒の海を裸で御輿を担ぐ姿が印象的なお祭りです。その印象から、今では他所から参加する若者が増えてきています。時代で変化し受け継がれていくお話を聞くことができました。

第2回

### 坂下阿蘇神社夏越祭(南関町) ～起源は「難を逃れるよう」と願う「難越し祭」～



南関町教育委員会教育課  
文化財係主査 **遠山 宏** 先生

祭日 3月下旬  
疫病や飢饉などの天災から逃れる為の、祈願祭(難越祭)が始められ五穀豊穡の祭りとなりました。その後、「楽」の奉納や花火の奉納も行われ、毎年賑わいを見せています。特に「楽」は、太鼓を叩きながら踊るもので、地区によって「楽」に地域性があり、継承されています。派手な衣装が目を惹き、楽しげで賑やかな様子が伝わってくる講義でした。

第3回

### 八代神社氷室祭(八代市) ～夏場の無病息災を祈願 縁起物「雪餅」～



八代神社  
宮司 **小林 雄彦** 先生

祭日 6月1日  
350年以上前、「雪」を献上し無病息災を祈願した事が言い伝えられています。細川忠興(三斎)公が妙見宮に参拝した際に、献上し祈願した事が始まりなのか、住民達が備蓄の雪を献上し祈念した事が始まりなのか、現在もわかっていません。現在は雪の代わりに「雪餅」が縁起物として献上されます。「雪餅」を食すと厄が去り、無病息災・家内安全のご利益があると言われてます。地元で長く親しまれてきた祭りについて学びました。

第5回

### 佐野山王祭礼(宇土市) ～「ホーライ、ホーライ」甘酒祭り～



宇土市教育委員会文化課  
係長(学芸員) **藤本 貴仁** 先生

祭日 12月申の日  
「サル」と呼ばれる若者達が、集落の山王神社に集い、「ホーライ、ホーライ」の掛け声をあげながら甘酒の徳利を奪い合って振り掛け合い、集落を巡る祭りです。甘酒が掛かると1年間無病息災になるといわれています。集落の若者が減少し、祭りの開催は難しくなっており、貴重な映像と共にお話をお聞きする事ができました。

第4回

### 犬子ひょうたん祇園祭(山鹿市) ～疫病から救った子犬の神様を称える祭り～

祭日 6月15日  
江戸時代中期、京都から山鹿へ神様をお遷している道中に、突然子犬が急に現れ、ついてきました。途中で子犬が疲れたため、ひょうたんのお神酒を分け与えると元気になり、その後、山鹿に辿り着き、神事を終えると子犬は突然姿を消しました。同時に当時山鹿で流行していた疫病が途絶えたと伝えられています。お祭りでは、米粉で作られた犬がひょうたんを抱いたお守りを授与しています。お守りの可愛さから熊本県内外の方にも人気があり、多くの方に親しまれています。講座では、実際に米粉の粘土で犬子ひょうたん制作体験もしました。



大宮神社  
禰宜 **杉谷 健文** 先生



犬子ひょうたん  
制作体験

## 受講生の感想

- ・ 県内各地のふるさとの祭りの歴史やそれに関わる人々の想いを学ぶことができました。
- ・ 講座で学んだことを自分なりに整理し、祭りに参加・見物に行きたいと思っています。